

## 第69回 代数学シンポジウム

第69回 代数学シンポジウムを下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

日程：2024年8月26日（月）～8月29日（木）

会場：筑波大学 第1エリア1D棟1D201室

開催方法：現地開催（オンライン配信なし）

主催：日本数学会代数学分科会

プログラム責任者：

[代数幾何] 大橋 久範（東京理科大）・上原 北斗（東京都立大学）

[環論] 上山 健太（信州大）・宮崎 誓（熊本大）

[群論・表現論] 三枝崎 剛（早稲田大）・土岡 俊介（東工大）

[数論] 伊藤 哲史（京都大）・並川 健一（東京電機大）

会場責任者：秋山 茂樹（筑波大学）

シンポジウム責任者：朝倉 政典（北海道大学、連絡責任評議員）

### プログラム

#### 8月26日（月）

10:15–11:15 谷田川 友里（東京工業大学）

分岐理論と  $l$  進層の特性サイクル

11:30–12:30 河野 隆史（早稲田大学）

The Borel-type presentation of the equivariant quantum and classical  $K$ -theory of the flag manifold in type  $C$

14:00–15:00 田坂 浩二（近畿大学）

多重ゼータ値代数のモジュラー現象について

15:15–16:15 Scott Carnahan（筑波大学）

Monstrous Moonshine for integral group rings

16:30–17:30 戸次 鵬人（Max Planck 研究所）

Eisenstein コサイクルとゼータ関数の特殊値

#### 8月27日（火）

\*10:15–11:15 柏原 正樹（京都大学）

Monoidal categories of modules over quiver Hecke algebras and quantum affine algebras, and cluster algebras

\*11:30–12:30 平田 典子（日本大学）

Diophantine method in the  $O$ -minimality

\*14:00–15:00 洞 彰人（北海道大学）

分岐律の向こうに見える確率的現象（特に対称群のスピン表現でのケーススタディー）

\*15:15–16:15 栗原 将人（慶應義塾大学）

zeta 関数の値と数論的加群の関係についての最近の発展

16:30–17:30 深澤 知（山形大学）

ガロア点理論とその群論, グラフ理論との関係

懇親会 スープファクトリー 18:00 開始（17:30 より受付）

## 8月28日（水）

\*10:15–11:15 橋本 光靖（大阪公立大学）

Almost principal bundles and invariant theory of group schemes

\*11:30–12:30 岡田 拓三（九州大学）

3次元ファノ多様体の双有理幾何

\*14:00–15:00 宮地 淳一（東京学芸大学）

Structures in triangulated categories and  $N$ -complexes

\*15:15–16:15 大川 新之介（大阪大学）

非可換 del Pezzo 曲面の幾何学

16:30–17:30 行田 康晃（東京大学）

一般化マルコフ数について

## 8月29日（木）

10:15–11:15 河上 龍郎（京都大学）

Cartier 作用素を用いた微分形式の拡張可能性

11:30–12:30 村井 聡（早稲田大学）

グラフの剛性に関わる凸多面体の構成問題

14:00–15:00 三井 健太郎（琉球大学）

Deformation of  $\alpha_p$ -actions to  $\mathbb{Z}/p\mathbb{Z}$ -actions on surfaces

15:15–16:15 小林 稔周（明治大学）

1次元局所環のトレースイデアルの集合について

16:30–17:30 平野 雄貴（東京農工大）

接続層の導来圏の三角圏構造

「\*」の付いた講演は、専門分野以外の方も対象とした、サーベイなどを含む講演です。